

処分のための看板を粉碎！

倉岡さんへの追加処分は阻止できる！

11月上旬から法大当局は倉岡さんへの処分のために『授業準備妨害』なる看板をつくって演説の妨害をしていましたが、あまりにもデタラメな看板とビデオ撮影に法大生の注目と怒りが集まり法大当局は追いつめられています！

12月10日の昼休みに「弾圧看板」を出している職員に、見学に来た高校生から「何をやっているんですか？」と質問され(しかもその高校生は直後に署名をしてくれました！)、すっかり消耗して途中で逃げ出し、その後一切登場できませんでした！完全に弾圧体制を粉碎しました！倉岡さんへの新たな処分は絶対に阻止できる！と実感しています。

ある法大生は「授業準備妨害なんてありえない」と言っていました。この多くの法大生の怒りが「ビラを受け取る」「署名をする」という行動となって、法大当局に打撃を与えています！（無期停学処分者 洞口朋子）



《岡山大学からのアピール》

法大署名は 処分に次ぐ処分と闘う法大生の姿から、「大学の主人公は学生だ！」という普遍的なテーマを突きつけられ、それに署名という形で参加できるという、学生の決起を促す大きな武器となっています。これは、「表現の自由」を問題にしていた以前の署名からさらに学生の怒りを引き出す ものとして、法大闘争が勝ち取った地平だと思います。この力強い武器を手に、岡大からも署名数を爆発させていきたいと思います！

☆大好評！処分撤回メールニュース配信中

法大・全国の状況がすぐにわかる！shobun_funsai@yahoo.co.jp